

102-192

問題文

虚血性心疾患とその治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 労作性狭心症の発作の原因は、冠動脈の攣縮である。
2. 不安定狭心症は、心筋塞に移行しやすい。
3. 心筋塞発作後、数時間でST波の低下が認められる。
4. 硝酸薬は耐性を生じることがあるため、テープ剤や軟膏剤の場合には休業期間を設けることが推奨される。
5. β 遮断薬は冠動脈が攣縮している狭心症の第1選択薬として用いる。

解答

2, 4

解説

選択肢 1 ですが

労作性狭心症の原因は、冠動脈が動脈硬化などで狭くなっている状態において激しい運動をすることによるものです。酸素需要の増大に伴い、血流量が増えると、狭い道に車がいっぱい向かうと渋滞するように、血流が滞り、結果として心筋の酸素不足により胸の痛みなどを感じます。

選択肢 2 は、正しい記述です。

発作の回数や程度が一定していないものを不安定狭心症と呼びます。

選択肢 3 ですが

心筋梗塞発作後 ST 上昇が見られます。※心筋梗塞発症後 急性期（一週間まで）は、ST上昇→異常 Q 波出現→陰性 T 波 という流れが心電図上で見られます。

選択肢 4 は、正しい記述です。

選択肢 5 ですが

冠動脈攣縮性の狭心症に対しては、Ca 拮抗薬が第一選択薬です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,4 です。